令和７年度
劇場・音楽堂等機能強化推進事業
成果報告書
①（基礎データ・公演事業の実績値等）

地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業	
団体名	特定非営利活動法人トリトン・アーツ・ネットワーク
施設名	第一生命ホール
内定額	5,488　（千円）

（1）令和7年度　助成対象事業一覧

※実績報告書様式13－2(2)事業内容 から転記してください。
　複数の事業類型（公演・人材・普及）が助成対象となっている場合は、それぞれすべて転記してください。

事業番号	事　業　名	実施日程	実施会場
公-01	0-3歳児のためのコンサート	令和７年６月18･19日、10月29･30日 令和8年3月9日･16日	第一生命ホール（ロビー）
公-02	音楽と絵本コンサート「おにたのぼうし」	令和7年9月27日	第一生命ホール
公-03	クリスマス・オーケストラ・コンサート	令和7年12月14日	第一生命ホール
公-04	音楽と絵本コンサート「スーホの白い馬」	令和8年2月21日	第一生命ホール
公-05	トリトン晴れた海のオーケストラ	令和7年6月28日、令和8年1月17日	第一生命ホール
公-06	室内楽の魅力～バボラーク・アンサンブル	令和7年11月22日	第一生命ホール
公-07	室内楽ホールdeオペラ～林美智子の「フィガロ」アリア版	令和7年9月20日	第一生命ホール
普-01	オープンハウス2025	令和7年7月19日	第一生命ホール、ホールロビー
普-02	アウトリーチ	令和7年5月21日～令和8年3月4日	中央区、江東区小学校他

（2）〔基礎データ〕

※ 交付申請書から転記してください。令和7年度について見込み等の暫定値だったものは、確定した数値を記入してください。

※ 実施中止分を含まない実績値を記入してください。

【1. 事業本数】

項　　目		令和5年度	令和6年度	令和7年度
年間事業本数（※1）	主催事業	23	22	21
	公演事業	18	17	16
	（内、本助成対象事業本数）	6	5	7
	人材養成事業	3	3	3
	（内、本助成対象事業本数）	3	3	0
	普及啓発事業	2	2	2
	（内、本助成対象事業本数）	2	2	2
	共生社会事業			
	（内、本助成対象事業本数）			
	その他　内容：　記入してください			

※1 事業の延べ実施回数ではなく、事業本数を記入してください。

【2. 貸館日数】

項　　目		令和5年度	令和6年度	令和7年度
貸館日数	ホールごとの貸館日数	170	194	178
	ホール名：第一生命ホール　座席数：767	170	194	178
	ホール名：記入してください　座席数：記入してください			
	ホール名：記入してください　座席数：記入してください			
	ホール名：記入してください　座席数：記入してください			
	ホール名：記入してください　座席数：記入してください			

【3. 施設利用者数（事業利用者数）・開館日数・利用可能日数・利用日数・利用率】

項　目		令和5年度	令和6年度	令和7年度
施設利用者数（※2）	主催事業入場者・参加者数	16,485	14,905	15,222
	公演事業	14,723	13,663	13,910
	人材養成事業	319	408	452
	普及啓発事業	1,443	834	860
	共生社会事業			
	その他　内容：			
	貸館事業入場者・参加者数	37,410	36,000	33,200
	その他　内容：記入してください			
	計	53,895	50,905	48,422
開館日数		312	307	316
施設の利用可能日数 （＝365－（保守点検日数+休館日数））				310
施設の利用日数				178
施設の利用率(%) （＝利用日数/利用可能日数）		0.0%	0.0%	57.4%

備考	

※2 実演芸術の公演等を鑑賞する者、ワークショップ等に参加する者、その他の劇場・音楽堂等の事業を利用する者の延べ人数を記入してください。
劇場・音楽堂等のスタッフや、併設施設（美術館、図書館等）のみへの入場者、事業関係者（出演者、指導者、スタッフ等）は除きます。
レジデントカンパニー・アーティストの稽古利用等の場合は「その他」に記入してください。

【4. 公演事業データ】

※ 交付申請書から転記してください。令和7年度について見込み等の暫定値だったものは、確定した数値を記入してください。

※ 実施中止分を含まない実績値を記入してください。

事業種別		事業本数	公演回数	入場者・参加者数	事業本数内訳						
					演劇	音楽	舞踊	伝統芸能	演芸	総合（※3）	その他
令和5年度	主催公演（※1）	18	29	13,498		18					
	共催・提携公演（※2）	7	7	2,510		7					
	貸館公演	130	134	37,410		110					20
	計	155	170	53,418							
令和6年度	主催公演（※1）	17	25	11,422		17					
	共催・提携公演（※2）	6	7	3,333		6					
	貸館公演	180	194	36,000		150					30
	計	203	226	50,755							
令和7年度	主催公演（※1）	16	25	12,048		16					
	共催・提携公演（※2）	5	5	2,917		5					
	貸館公演	127	130	33,200		117					10
	計	148	160	48,165							

※1 名義主催は除きます。
※2 名義共催を含みます。
※3 「総合」には、フェスティバル等における事業数を記入してください。

（3）各公演事業における実績値 及び 評価項目「創造性・企画性」に関する評価指標・目標（値）・実績（値）

- 公演事業について、助成対象事業ごとに目標（値）と実績（値）を記入してください。
- 入場者数・入場者率（目標値）は**「交付申請書」**から転記してください。
- 有料入場者数・有料入場者率（目標値）および評価指標・目標（値）は**「評価補助シート」**から転記してください。

※有料入場者率（%）の計算方法＝**有料入場者数÷公演の設定席数（実績値）合計×100**

事業番号	事業名		入場者数	入場者率	評価指標	目標（値）	実績（値）
公-01	0-3歳児のためのコンサート	目標値	720	80.0%	観客・聴衆満足度	アンケート上位2段階95%以上	満足度97.9%で達成できた（有効回答数:146枚）
		実績値	771	85.7%			
公-02	音楽と絵本コンサート「おにたのぼうし」	目標値	500	75.4%	観客・聴衆満足度	アンケート上位2段階95%以上	満足度98.0%で達成できた（有効回答数:52枚）
		実績値	368	55.5%	0-3歳児コンサートからのリピーター件数	顧客分析で10件以上	チケットデスク顧客分析9件であり、若干未達
公-03	クリスマス・オーケストラ・コンサート	目標値	1,530	83.6%	観客・聴衆満足度	アンケート上位2段階95%以上	満足度98.3%で達成できた（有効回答数:120枚）
		実績値	1,343	73.4%	0-3歳児コンサートからのリピーター数	顧客分析で20件以上	チケットデスク顧客分析19件であり、若干未達
公-04	音楽と絵本コンサート「スーホの白い馬」	目標値	530	79.9%	観客・聴衆満足度	アンケート上位2段階95%以上	満足度96.2%で達成できた（有効回答数:55枚）
		実績値	577	87.0%	0-3歳児コンサートからのリピーター件数	顧客分析で10件以上	チケットデスク顧客分析14件で達成できた
公-05	トリトン晴れた海のオーケストラ	目標値	1,200	79.1%	観客・聴衆満足度	アンケート上位2段階95%以上	満足度100%で達成できた（有効回答数:62枚）
		実績値	1,415	93.2%	専門家による批評掲載数と内容	掲載1本以上でおおむね高評価	掲載3本で高評価を得た（音楽の友9月号・5月号レビュー、2/5朝日新聞夕刊コラム）
公-06	室内楽の魅力～バボラーク・アンサンブル	目標値	620	81.7%	観客・聴衆満足度	アンケート上位2段階95%以上	満足度100%で達成できた（有効回答数:17枚）
		実績値	630	83.0%	当該公演の若い世代の観客数	U25券売数150枚以上	U25券売数256枚で達成
公-07	室内楽ホールdeオペラ～林美智子の「フィガロ」アリア版	目標値	530	80.5%	観客・聴衆満足度	アンケート上位2段階95%以上	満足度95.2%で達成できた（有効回答数:42枚）
		実績値	605	91.9%			

令和７年度

劇場・音楽堂等機能強化推進事業

成果報告書

②（評価）

地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業	
団体名	特定非営利活動法人トリトン・アーツ・ネットワーク
施設名	第一生命ホール
内定額	5,488　（千円）

（1）各公演事業の自己評価

「成果報告書①（基礎データ・公演事業の実績値等）」に記載の入場者率・評価指標・実績（値）等に言及しつつ、自己評価と自己評定（※1）を記入してください。

（※1）…S～D で記入してください。

※太枠内に記入してください

事業番号	事業名	自己評価
公-01	0-3 歳児のためのコンサート	入場者率は 85.7%にとどまったものの、チケットは完売。理由は、25 組の席設定の中、同行家族の追加席がある場合は席数が減るため。入場者数実績は 771 名と目標以上の数字で評価指標である満足度は 97.9%。乳幼児時代からホールのファンになる最初のステップとして 15 年にわたり機能している。
公-02	音楽と絵本コンサート「おにたのぼうし」	入場者率 55.5%と目標未達となり、入場者数実績は 368 名だったが、評価指標である満足度は 98.0%と高く目標を達成した。オリジナルの企画性の高い内容が聴衆親子にも評価された。
公-03	クリスマス・オーケストラ・コンサート	入場者率 73.4%であり、高めに掲げた目標は未達となったが、入場者数実績は 1,343 名と、1 日 3 回公演を行ってほぼ満席を継続していることは地域のニーズの表れでもあり高く評価できる。評価指標である満足度も 98.3%と高く、目標達成。
公-04	音楽と絵本コンサート「スーホの白い馬」	入場者率 87.0%、入場者数の実績値も 577 名といずれも目標達成。評価指標である満足度も 96.2%と達成。地域の状況に即した、演奏家と企画した芸術性の高い企画で、初演から 17 年、2 度目の再演と評価の高い作品。
公-05	トリトン晴れた海のオーケストラ	2 回とも完売で入場者率 93.2%、入場者数の実績値も 1,415 名、評価指標である満足度は 100%、批評掲載数も「音楽の友」に 2 公演とも演奏会評が載り、新聞にコラムも掲載されるなど目標はすべて達成。
公-06	室内楽の魅力～バボラーク・アンサンブル	入場者率 83.0%、入場者数の実績値 630 名、評価指標である満足度 100%、U25 券販売 256 枚（過去最高）と目標達成。SNS での発信をうまく使い、若い世代に来場してもらうことができた。
公-07	室内楽ホール de オペラ～林美智子の「フィガロ」アリア版	完売で入場者率 91.9%、入場者数の実績値 605 名、評価指標である満足度も 95.2%と目標達成。演奏家とともにこのホールならではのオリジナル企画を作り高く評価された。

※行が足りない場合は適宜追加してください。

（2）自己評価

評価項目①：創造性・企画性

（※1）…S～D で記入してください。

評価の観点	・（企画力）地域の状況と芸術性とのバランスが取れた、特色ある事業計画である。 ・（制作力）優れたアーティストやスタッフ等が才能や技能を発揮し、高い水準の作品制作や各種事業が行われている。 ・（発信力・影響力）圏域内外の実演芸術を牽引する成果が期待できる。 ・（レジデントカンパニー・アーティスト）当該劇場を創造拠点又は準拠点とする実演芸術団体やアーティストを擁する。	
	・自由設定の観点（任意）（※2）	

（※2）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

	評価指標（※3）	目標（値）（※4）	実績（値）
公演事業	・顧客満足度 ・外部評価委員会の公演事業への評価	・全公演事業の 9 割で、観客満足度の目標達成 ・評価事業報告書で概ね高評価を得る	・アンケート結果では主催公演 21 公演中、20 公演で満足度目標達成できた（達成率 95.2%）。 ・評価委員会での評価委員からの外部評価は、高評価。（評価報告書は、７月頃完成予定。）
人材養成事業	採択なし		
普及啓発事業	・オープンハウスの顧客分析で新規来場者数	・オープンハウス新規申込割合 50%以上	・オープンハウス新規申込割合は 41.3%で未達だったが、来場者は昨年度より増えた。
共生社会事業			

（※3）・（※4）…R７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、事業類型ごとに太枠内に自己評価を記入してください。

公演事業	
自己評価	顧客満足度は目標を満足度95%と高く設定したが、達成。公演事業はどれも地域の状況を見て対象者を定め、スタッフが演奏家と相談して第一生ホールならではの企画を制作している。レジデントである「トリトン晴れた海のオーケストラ」に対する評価は高まっており、ボランティアの参画や寄付などの資金調達にまで良い影響を及ぼしている。有識者からなる外部評価委員会からは、「地域特性を踏まえた公演プログラム」「ホールの魅力を最大限に生かしたラインナップ」「シリーズ毎に世代が循環する仕組みが構築されている」「演奏家と制作サイドが共に考え、共に成長していく環境」と高く評価されており、企画力、制作力、発信力・影響力、レジデントカンパニー、いずれの面においても創造性、企画性ある第一生命ホールならではの事業を展開できている。

人材養成事業	
自己評価	採択されなかったが、アウトリーチセミナーで育成した若手演奏家が当団体のアウトリーチで活躍、ウェールズ・アカデミー修了生はアカデミー後、N響、読響、日本センチュリー、新日本フィル、東響など様々なオーケストラに合格し在籍、オーケストラや室内楽、ソリストとしても活躍して、日本の室内楽シーンをけん引する存在として育っている。

普及啓発事業	
自己評価	オープンハウスの評価指数は新規来場者数とし、目標を新規申込割合として未達だったが、全体の入場者数は2024年度684名に対し、2025年度860名と増えたため、新規来場者も増えたと推察される。内容も、これまでアウトリーチに参加している若手演奏家からの企画を募集する形で、スタッフと共に作っており、第一生命ホールならではの企画となった。 アウトリーチも、受入先への細やかなヒアリングからアーティストとリハーサルを重ねて企画をつくっており、地域のニーズに応じた特色ある内容となっている。幼稚園児から小学校（中央区立全校に毎年実施）、中学校、高校と発達に応じたステップで実施している。

共生社会事業	
自己評価	

（２）自己評価

（※１）…S～D で記入すること。

評価項目②：国際性（任意）

評価の観点	・（国際プレゼンスの向上）海外の劇場やフェスティバル、実演芸術団体等と連携し、国際共同制作や海外作品の招聘等に取り組んでいる。 ・（国際交流）アーティストや文化芸術関係者の招聘等、人的交流や情報交換が行われている。 ・（新たな創客への取組）在住外国人や訪日外国人に向けて文化芸術体験の機会を提供する等、グローバルな視座で創客に取り組んでいる。	
	・自由設定の観点（任意）（※２）	

（※２）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※３）	目標（値）（※４）	実績（値）
・招聘団体であるアマリリス弦楽四重奏団公演（助成対象事業外）の日本公演数	・4 公演	・アマリリス弦楽四重奏団の公演は、先方側の諸般の事情により来日中止となり、招聘できなかった。

（※３）・（※４）…R７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	2025 年度の招聘はなくなったものの、当団体はボルドー国際弦楽四重奏コンクールと提携し優勝団体の日本ツアーをするなど定期的に海外で注目される弦楽四重奏団を招聘。2024 年に招聘したレオンコロ弦楽四重奏団（ドイツ）はコンセルトヘボウ、ウィグモアホールなど世界中のホールでシリーズを持つなど活躍しており、2026 年度に招聘する Opus13（オーパス・サーティーン）（ノルウェー/スウェーデン）は日本での公演だけでなく、第一生命ホールに近い晴海西小学校でアウトリーチを行う予定。ホール近隣は在住外国人も多く、アウトリーチに参加したり、公演に来場したりしている。

（２）自己評価

（※１）…S～D で記入すること。

評価項目③：地域文化拠点機能

評価の観点	・（文化拠点）地域の特性やニーズを踏まえ、地域の文化資源を活用するなど、地域の文化拠点として事業が組み立てられている。 ・（地域連携）地域の関係機関と連携・協力し、地域コミュニティの創生や社会課題の解決等に取り組んでいる。 ・（児童生徒への機会提供）次代を担う子ども達を対象とした鑑賞や体験事業が行われている。	
	・ホール利用サービス（貸館事業）の向上（任意）（※２）	
	・自由設定の観点（任意）（※３）	

（※２）・（※３）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※４）	目標（値）（※５）	実績（値）
・サポーター（市民ボランティア）の数 ・連携する小学校数 ・子ども対象事業（子どもといっしょにクラシック）の参加率	・前年度実績＋5 人 ・中央区立小学校 17 校、中学校 2 校 ・子ども対象事業（公演事業 1-3）で目標数を上回る参加数を得る	・サポーター数は、令和７年３月末で 53 名だったが、令和８年３月末で 71 名となり、1 年間で 18 名増加した。 ・中央区立小学校 17 校全校と、中学校では目標を上回る 3 校でアウトリーチ事業を行うこうことができた。 ・子ども対象の公演事業では、目標に対する参加率は、公-01: 107.1%、公-02: 73.6%、公-03: 87.8%、公-04: 108.9%、となり、半数の公演で目標達成できた。

（※４）・（※５）…R７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	NPO 法人である当団体に参加する地域のサポーターは目標を超えた人数が登録、公演事業や地域でのアウトリーチで活動している。中央区教育委員会とも連携が取れており、教育委員会への区民からの寄付を経費の一部にあて中央区立全校小学校で毎年アウトリーチを継続、令和６年度からは区立中学校でもアウトリーチをスタート、目標を上回る３校で実施できた。年代別に実施している子ども対象の公演事業では半数で、目標の参加数を得た。来場者の中央区・江東区の割合は、0-3 歳児のためのコンサートで 85%、4 歳以上の「子どもといっしょにクラシック」で 71%と、地域で増える子どもたちの鑑賞機会となっている。

（2）自己評価

（※1）…S～D で記入すること。

評価項目④：多様性とアクセシビリティ

評価の観点	・(プログラムの多様さ）プログラムの種類や形態が多様で、幅広い観客や参加者に訴求する。 ・(参画者の多様さ）アーティストやスタッフとして参画する人々の属性（性別、年代、居住地、他）が多様である。 ・(アクセシビリティ）障がいの有無や年齢、性差、国籍、居住地、経済的状況等に関わらず、あらゆる人々と実演芸術をつなぐため、施設の構造・設備上の配慮、プログラム上の創意工夫やサポート、アウトリーチ等が行われている。	
	・自由設定の観点（任意）（※2）	

（※2）…R7 年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※3）	目標（値）（※4）	実績（値）
・子育て世代に向けた事業数と託児利用者数 ・アウトリーチ事業の実施数	・3 事業 5 公演（公演事業 2.3.4）実施、利用 25 人 ・中央区江東区内で 30 回以上	・3 事業（公－01,02,03）で外部業者の託児を実施。利用者数合計：28 人で目標達成できた。 ・アウトリーチは 35 回実施でき、目標達成した。

（※3）・（※4）…R7 年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	子ども対象の公演事業の託児利用は目標達成し、地域で増える子育て世代に向けてホールに来場しやすい環境を整えることができた。また、「ホールに来られない方のもとへ音楽をお届けする」と定義しているアウトリーチは、中央区、江東区で目標を上回り 35 回実施。中でも中央区では、年代別に発達支援センターでの未就学児向けアウトリーチ、発達支援センターと同じ建物内での不登校児の「わくわく 21」へのリハーサル見学声かけ、区立全小学校での 4 年生アウトリーチに特別支援学級の子どもたちが参加、銀座中学校特別支援学級（区立中学校の中で唯一）でのアウトリーチを継続するなど、多様性とアクセシビリティに配慮したアウトリーチも年代別に継続できている。

（2）自己評価

（※1）…S～D で記入すること。

評価項目⑤：自由設定（任意）

評価の観点	①　創造性・企画性、②国際性、③地域文化拠点機能、④多様性とアクセシビリティ、⑥運営体制と持続可能性　の項目では成果や課題に言及しきれない事柄について、自己評価を行ってください。（※2）
	・ ・ ・

（※2）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※3）	目標（値）（※4）	実績（値）

（※3）・（※4）…R７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	

（2）自己評価

その他：エピソードやグッドプラクティス事例について

助成対象事業に関連して、心に響くような印象的な出来事や、他館の参考になるような好事例があれば、具体的にご記入ください。
・0～3 歳児のためのコンサートでは、「0 歳から 3 歳まで毎回参加しており今回が最後。次は（4 歳から入場可の）ホールでのコンサートのチケットを買った」「このコンサートを通して音楽が大好きになり、楽器を習い始めた」というようなエピソードをアンケートに書いたり、スタッフに話してくれたりする保護者が毎回のようにいた。アンケートには「生後 9 ヶ月の娘も最後まで真剣に耳を傾けている様子でした。帰り道『オー・ソレ・ミオ』のサビを口ずさむと、静かに抱っこされていた娘が、嬉しそうにニコニコしながら私を見上げてくれました。きっと素敵な音楽が、娘の心にも響いたのだと思います。その時の笑顔は、一生忘れません。」という声もあった。0 歳から 3 歳向けのロビーでのコンサート、4 歳から入場可のホールでのコンサートを 15 年以上継続していることで、地域で音楽とともに育つ子どもが増えていること、保護者にとっても貴重な機会になっていることを実感している。 ・「トリトン晴れた海のオーケストラ（晴れオケ）」では、晴れオケに使途を限定した寄付申込が個人で 4 名、法人で 1 社あった。「聴き慣れたベートーヴェンの交響曲でこれほど感動できるとは！」「晴れオケの演奏は指揮者なしなのにいつも息ぴったり」などの応援コメントと共に寄付で応援してくださっている。また、晴れオケのファンだったことがきっかけで、当団体のサポーター（ボランティア）になり活発に活動している方もいる。中央区・江東区優先で行った公開リハーサルの来場者が「クラシックにはあまり詳しくなかったのですが、初めて第一生命ホールを訪れ、すっかりファンになりました。他のコンサートにも足を運んでみたいと思い、チケットを購入しました」とスタッフに話してくれるなど、晴れオケの存在が様々な形で当団体の運営に良い影響をもたらし、地域への芸術文化の鑑賞機会拡大や普及活動に貢献していることを感じている。 ・2018 年当時、東京芸大楽理科学生でオープンハウスやアウトリーチで活躍していたインターン生が、現在非常勤講師として勤務する大学の芸術文化行政コースの学生をインターン実習生として紹介してくれ、そのインターン生がアウトリーチなどで活躍するなどの好循環が生まれた。

（2）自己評価

評価項目⑥：運営体制と持続可能性

（※1）・（※2）…R7年度評価補助シートから転記すること。

※太枠内に記入してください

○「実現性」の項目より〈(ア）～（エ)〉

評価の観点	（ア）多様な財源の確保 予算計画が妥当であり、事業収入のほか、各種助成金や寄附金・協賛金等の獲得に努めている。	（イ）広報・営業力 広報計画が充実しており、券売や集客、会員制度等の拡充に努めている。
現状（※1）	本補助金の他、自治体や民間助成金などをチェックして申請を行っている。また、NPOの認定条件である寄付者１００名以上を確保しているとともに、法人会員や個人会員からの会費も継続的にいただいている。	独自の機関紙である「トリトンアーツ通信」を年間10回定期的に発行（部数：35,000部)、新聞折込み及びアウトリーチ先の学校や地域交流センターなどで配布している。
目標(値)（※2）	認定基準である寄付者１００名以上を、コンスタントに継続する。	特に無し
実績(値)	令和8年3月末で寄付者１２０名となり、達成できた。	特に無し
団体の自己評価	本補助金のほか、中央区や民間財団の助成も申請し、補助金をいただくことができた。また、法人会員55社も退会は無く、会費も継続いただけた。個人会員は年間で2名減少し、582名となった。	トリトンアーツ通信を年に10回定期的に発行し、新聞折込や中央区立小学校や地域交流センターなどに配布できた。

評価の観点	（ウ）他館連携 他の劇場・音楽堂等との事業連携や協力・支援を通じて、効果的で効率的な事業運営を行っている。	（エ）設置者 円滑な事業の継続のため設置者と適切に意思疎通を図っており、設置者による人材や財源の確保等が期待できる。
現状（※1）	東京文化会館、サントリーホール、東京芸術劇場、静岡 AOI の 5 館連携による若手アーティスト支援のアフタヌーンコンサートに参加、アウトリーチセミナー修了生などが出演している。	設立母体であり、最大の寄付者である第一生命保険から出向者２名あり。第一生命とは定期的に会議を行うなど、意思疎通を図っている。
目標(値)（※2）	特に無し	特に無し
実績(値)	特に無し	特に無し
団体の自己評価	2/14 東京文化会館にてアフタヌーンコンサートが開催され、当方からアウトリーチセミナー修了生のクァルテットが参加した。	２か月に１回、定期的に第一生命関連部門と情報交換を兼ねた運営会議を開催した。第一生命からの出向者は２名事務局に所属している。

○「持続可能性に関するチェックシート」より〈(オ) ～ (セ)〉

評価の観点	（オ）芸術監督 芸術監督等、劇場運営の芸術面を統括する人材が配置されている。	（カ）長期的経営 長期的視点に立ち、劇場運営を統括する、経営実務者が配置されている。
現状（※1）	特に無し	特に無し
目標(値)（※2）	特に無し	特に無し
実績(値)	特に無し	特に無し
団体の自己評価	特に無し	特に無し

評価の観点	（キ）専門人材の確保 今日的な劇場運営に必要な職能や専門性を踏まえ、運営体制が整備されている。あるいは専門人材の確保や育成に努めている。	（ク）職制の整理 芸術監督、館長、支配人、プロデューサー、その他管理職の職位及び職能、一般職員の職務内容等が専門性を基に整理され、役割分担されている。
現状（※1）	特に無し	特に無し
目標(値)（※2）	特に無し	特に無し
実績(値)	特に無し	特に無し
団体の自己評価	特に無し	NPO 法人として公演の企画運営を実施するため、１０名（出向者２名を含む）の職員が勤務、職位は PD から専門職（DR）など多様に整理されて役割分担している。

評価の観点	（ケ）世代間バランス 年齢バランスを考慮した人材確保を行っている（若年層の雇用に努めている）。	（コ）ジェンダーバランス 女性管理職比率が 30%以上である。あるいは、女性の管理職やリーダー職への登用に努めている。
現状（※1）	職員１０名の NPO 組織であり、現実的には不可能。	職員１０名中８名が女性。制作スタッフは、プロデューサー含め全員女性。
目標(値)（※2）	特に無し	特に無し
実績(値)	特に無し	特に無し
団体の自己評価	今年度パート１名退職にともない、補充で若手職員（女性）１名採用。この４月より正社員として登用した。	職員１０名中８名が女性。制作スタッフは、プロデューサー（リーダー）を含め全員女性。

評価の観点	（サ）ワークライフ・バランス 仕事と育児･介護等の両立支援制度を整備し、推進している。	（シ）コンプライアンス順守 情報セキュリティをはじめ、各種コンプライアンスの順守規定を策定し、必要な研修を行っている。
現状（※1）	育児休業及び介護休業規程を制定している。	情報資産保護管理規程を策定済み。また、コンプライアンス研修を定期的に実施している。
目標(値)（※2）	特に無し	特に無し
実績(値)	特に無し	特に無し
団体の自己評価	規定を整備し、職員には周知している。自由にみられるサーバー内に規程を保存している。	第一生命の関連法人として、コンプライアンスや情報セキュリティ規程及びルールを制定済み。第一生命から年２回の業務監査実施（定例)。

評価の観点	（ス）ハラスメント防止対策 職場内及び創作現場におけるパワー・ハラスメント、セクシュアル･ハラスメント等防止のための指針等を策定・周知し、必要な研修を行っている。	（セ）適正な契約事務 アーティストやスタッフと適正な契約書を交わしている。
現状（※1）	ハラスメント防止については、就業規則で明確に服務規律として規定している。	全ての出演者（法人･個人）と適切に契約書を取り交わして保存している。
目標(値)（※2）	特に無し	特に無し
実績(値)	特に無し	特に無し
団体の自己評価	第一生命関連のルールに基づき、就業規程でハラスメント指針を服務規律として策定。	すべての出演者に対して、契約書を提携している。

（3）総評

※太枠内に記入してください。

団体の自己評価
人口が増える地域特性を踏まえて、当団体の 2 本の柱である「ホール公演事業」「コミュニティ事業（普及事業）」両方で、ビジョン「音楽でつながり、音楽とともに生きる社会の実現」、ミッション「音楽によるコミュニティの活性化――音楽の楽しさを分かち合い、心を豊かにする」に沿った充実した活動ができた。年代別、対象別にきめ細かく企画したホール公演は、一部で参加者数が目標未達だったものの、参加者の満足度は非常に高く、レジデントの「トリトン晴れた海のオーケストラ」をはじめ、専門家の評価も高い。「コミュニティ事業（普及事業）」のアウトリーチも中央区と連携して年代別に継続できている。公演事業の参加者数が一部目標未達など改善の余地はあるものの、地域の文化拠点として十分に機能していると自己評価する。

備考